

新型インフルエンザ発症により平成 21 年度海外交流事業が中止  
に至った経緯

- ① 3月 メキシコで、新型インフルエンザ発生
- ② 4月 24日 米で、新型インフルエンザ 7人感染（人から人への感染が始まる。）
- ③ 4月 27日 メキシコ感染者数 1,614人 死者 103人 アメリカ 20人感染 カナダ 6人感染（感染者監査中 ニューージーランド 15人・フランス・イスラエル・ブラジル・英国）
- ④ 4月 28日
  - ・ 警戒レベルが「フェーズ 4」（人から人へ感染・小集団）に引き上げられる。  
世界保健機関（WHO）
  - ・ 宗像市 同様の事業を行う他自治体や学校から、情報収集を開始する。
  - ・ 派遣団員応募者の家庭（35 家庭）に 1 次選考会延期を電話で通知。
- ⑤ 4月 29日 感染者 8カ国に拡大
  - ・ ニューージーランドで高校生ら 11人の感染が確認される。（メキシコ研修生）
  - ・ 韓国で 5人感染（メキシコ・米国帰り）・米国 65人
  - ・ WHOは、新型インフルエンザがまだ世界的大流行（パンデミック）には至っていないと見方を示しているながらも、すべての国が最悪の事態に備えるべきだとし、特に発展途上国での警戒を呼びかけた。
- ⑥ 4月 30日（朝日新聞）
  - ・ 午前 5時にWHOが警戒レベルを「フェーズ 5」（大流行が 2カ国以上、大流行直前）に引き上げ、検疫体制を強化した。
  - ・ ニューージーランドで高校生ら 14人の感染が確認される。
  - ・ 感染者数メキシコ 2,498人 死者 159人
  - ・ 他国（9カ国）感染者数 140人 死者 1人（アメリカ）
  - ・ 疑いがある国（14カ国）
- ⑦ 4月 30日 宗像市臨時教育委員会開催  
平成 21 年度宗像市少年少女海外派遣研修事業中止を決定する。
- ⑧ 4月 30日 関係者（応募者） 35人に平成 21 年度宗像市少年少女海外派遣研修事業中止のお知らせを送付する。
- ⑨ 6月 18日 宗像市で感染者が発生する。
- ⑩ 6月 22日 旅行代理店より、ニューージーランド国の新型インフルエンザ感染状況の報告を受ける
  - ・ ニューージーランド国で、新型インフルエンザ発生段階が制御レベル（第 2 段階国内発生早期）から管理段階（第 3 階感染拡大、万延期）に変更されたことが報告さ

れる。

- ⑪ 6月25日 宗像市の新型インフルエンザ感染者が15人になる。
- ⑫ 6月29日 交流校から旅行代理店（E T I ジャパン）を通して、交流事業の可否について、問い合わせがある。
- ⑬ 6月30日
  - ・シンガポール国の交流校が、ニュージーランド国マウントロスキル校に対し、受け入れ中止の申し入れを行う。
  - ・マウントロスキル校より、交流事業中止の連絡あり。
- ⑭ 7月7日 受け入れをお願いしていた26家庭に来訪中止決定の通知を送付する。
- ⑮ 7月9日 マウントロスキル校へ、交流事業中止を了承した旨を通知する。